

◆◆◆ 最近の緊急地震速報利用者協議会の動向

緊急地震速報利用者協議会の最近の話題をお届けします。

去る7月3日（金）に開催された緊急地震速報利用者協議会の平成21年度定期総会において平成21年度の事業計画が承認されたことから、その計画の実施に向けて具体的な事項を決めるため、7月28日（火）に総合部会(部会長：赤星 誠(株式会社NTTドコモ))が開催されました。この部会では以下のものについて検討を行いました。

①「緊急地震速報利用端末等の基準に関するガイドライン」の推奨に向けて

緊急地震速報は、人の生命や財産に係わる情報で、不正確な情報の提供や誤動作が発生することにより、緊急地震速報そのものの信頼性を失墜し、社会的に凶り知れない影響があります。このようなことから、緊急地震速報関連機器の設計、配信、運用及び保守等全般にわたりガイドラインを制定し、それに準拠することにより、緊急地震速報の利用における信頼性が担保でき、緊急地震速報の価値を高めることとなり、究極の減災情報として広く国民が安心して利用できる情報となります。緊急地震速報利用者協議会では、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「緊急地震速報 JEITA ガイドライン検討会（委員長：群馬大学大学院 片田敏孝教授）」で制定されたものを推奨することで検討を行っています。

②ロゴマークの愛称について

緊急地震速報のロゴマークについては平成19年度の定期総会で承認され、緊急地震速報利用者協議会の会員はもとより一般においても「緊急地震速報ロゴマーク及びピクトグラム利用のガイドライン」に沿って周知・広報用としてリーフレット等への刷り込み、シールの作成、機器への貼り付け等に広く使用されています。これまで、「ナマズ」をモチーフとしたロゴマークは、多くの関係者が「なまず」と呼んでいましたが、親しみやすい愛称を付け、緊急地震速報の周知・広報に活用したいとの要望が気象庁をはじめとして会員から寄せられたことから、その愛称を公募することとしました。緊急地震速報利用者協議会のホームページ、地方気象台等のお天気フェアで公募のお知らせを行っており、8月20日現在100を超える応募がありました。8月末に締め切り、その後、緊急地震速報利用者協議会の会員の投票により決定することとしております。

③講演会及び展示会について

緊急地震速報の周知・広報の一環として、講演会及び展示会を開催することとしました。現在予定されているものは次のとおりです。

■講演会

緊急地震速報講演会（気象庁と共催）

日時：平成21年12月1日（火）

会場：東京都千代田区一ツ橋 2-6-2（財）日本教育会館の一橋ホール

■展示会

・危機管理産業展 2009 への出展

日時：平成21年10月21日（水）から23日（金）

会場：東京ビッグサイト 西ホール・会議棟

・平成21年度あいち防災協働社会推進大会（あいち防災フェスタ）への出展

日時：平成21年11月8日（木）

会場：愛・地球博記念講演（モリコロパーク）愛知郡長久手町

・緊急地震速報関連機器展示会（気象庁後援予定）

日時：平成21年12月1日（火）

会場：東京都千代田区一ツ橋 2-6-2（財）日本教育会館の一橋ホールのホワイエ

（財団法人気象業務支援センター配信事業部長 加藤芳夫）